特別給水管　参考資料

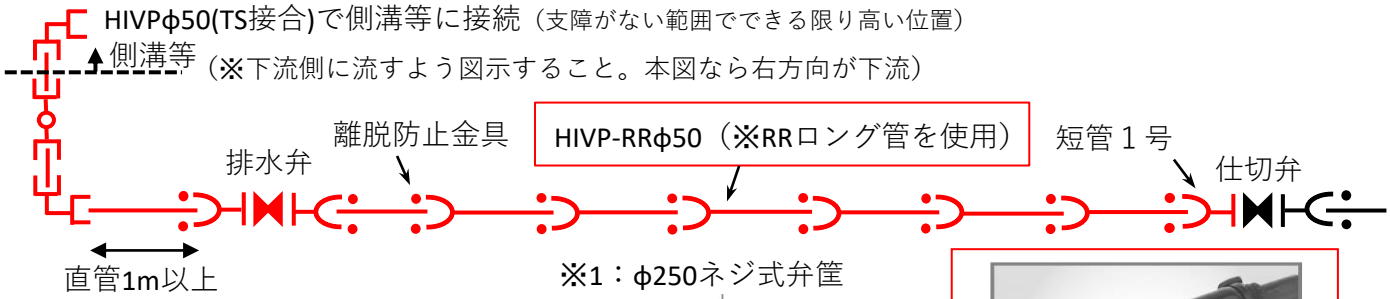
参考

【注意事項】

・将来配水管となるため基本、水道課の「配水管に関する設計基準」に適合した配管としてください。
・水質管理のため、管末には排水設備が必要となります。
・道路進行方向に対し、水道管の並走は原則禁止です。複数本ある場合は撤去・切替が必要です。
・特別給水管布設箇所に他の給水管がある場合には、それらの切替工事が必要です。
・配管詳細図例はHIVPとしておりますが、HPPE（青ポリ）での施工も可能です。

【配管詳細図例】（赤色：新設　黒色：既設）

●例1：配水管を延長する場合（排水先有）



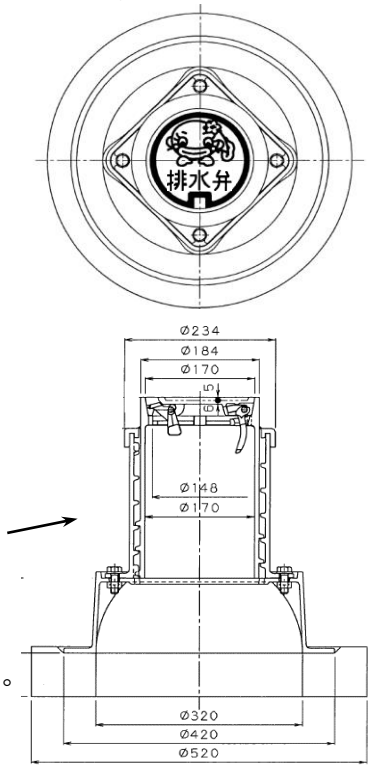
【給水装置工事申込書】

使用材料一覧表 例１の記入例

種別	寸法	数量
HIVP-RR	φ50	6本
離脱防止金具	φ50ロング用	6個
短管１号	φ50	3個
ソフトシール	φ50	1個
排水弁筐※1	φ250	1セット
HIVPプレーンエンド	φ50	1本
HIVPエルボ	φ50	4個

本図面はR4年4月以降の新しい弁筐です。
高さについては４種類ございますので、
施工者の責任で現地を確認し、適切な
種類を選択いただきますようお願いします。
R3年度までの弁筐の使用も可能です。
（R3年度までの弁筐については裏面参照）

※1：φ250ネジ式弁筐





RRロング管＋離脱防止金具



RRロング管



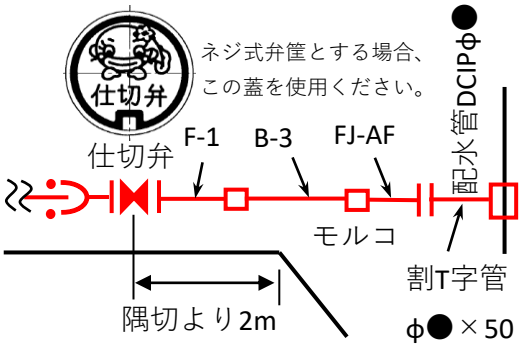
RR管※使わないこと

写真引用：水道用ゴム輪型硬質ポリ塩化ビニル管の
耐震技術資料　塩化ビニル管・継手協会

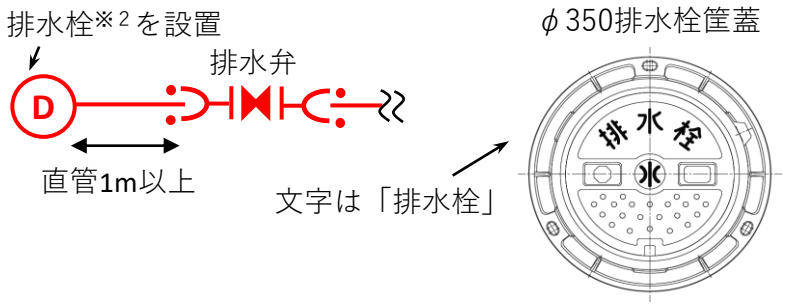
●例２：既設配水管から取り出し　※管末については例１参照

【給水装置工事申込書】使用材料一覧表 例２部分記入例

種別	寸法	数量	種別	寸法	数量
サドル・割T字管	φ●×50	1個	モルコ	φ50	2個
FJ－AF	φ50	1個	ソフトシール	φ50	1個
B-3	φ50	1個	仕切弁筐	φ50	1個
F-1	φ50	1個	※以降は例１参照		



●例３：配水管を延長する場合（排水先無）※排水弁までは例１と同様

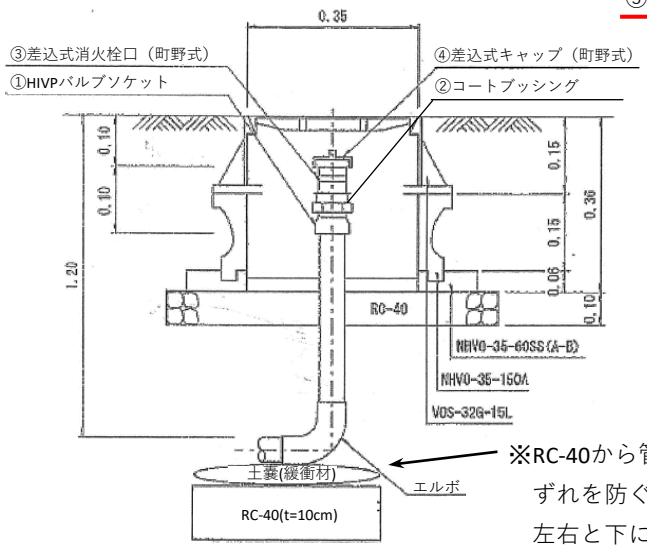


※２：排水先がない場合、消火栓型の排水栓が必要となります。配管詳細図には⒟と記載ください。また本排水設備の詳細については下記を確認ください。

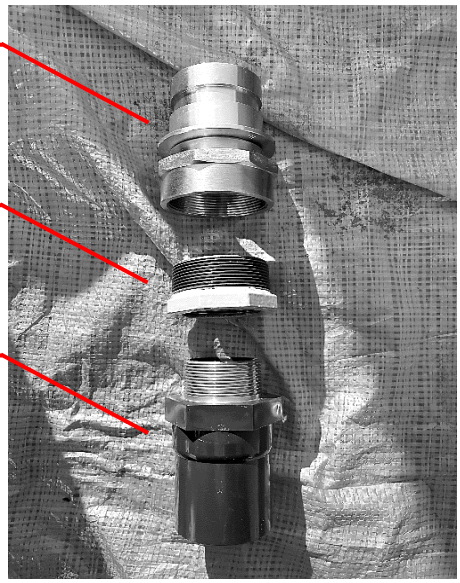
＜排水栓使用部材（例）本管をエルボで立ち上げた管末に①→②→③→④の順に接続＞

接続順番	種別	寸法	説明
①	HIVPバルブソケット	50	TS接合のHIVPソケットとオスネジがあるもの
②	コートブッシング　2 1/2×2	65×50	バルブソケットオスネジに接続するφ50メスネジとφ65のオスネジがあるもの
③	差込式消火栓口　町野男×ﾒｽﾈｼﾞ	65	コートブッシングのφ65オスネジに接続するメスネジと町野式消火栓口があるもの
④	差込式キャップ	65	差込式消火栓口の町野男に接続する町野女のキャップ

＜排水設備構造図の例＞

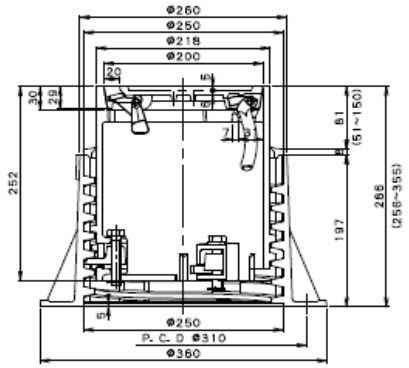


※RC-40から管を守るため、管のずれを防ぐため、土嚢を管の左右と下に入れ養生ください。



【R3年度までの弁筐】

弁筐鉄蓋（φ250）





排水弁用蓋



仕切弁用蓋

例：DP=1.2m弁筐一式（鉄蓋以外レジンコンクリート製）

部材	形状・寸法	備考
鉄蓋	ガタツキ防止型(T-25)	左図参照
上部	φ250-150A	
中部	φ250-200B	DP=1.05m時これのみ省略
下部	φ250-300C	
底部	φ250-60S	
※DP=0.75m時は上記鉄蓋・底部の間にφ250-150CAを設置しています。		